

野田村二十一人討死

証如上人御消息披露法要

講師 野世 真隆師

2022.5.8(日)

講題 聖人が望まれたこと



当日朝、コミュニティの碑を掃除してお花を供えました。地域の方が、圓滿寺役員の方が5月8日のため特に綺麗にして下さっていたようです。とても有り難いです。

法要が始まる前に、コミュニティの碑の前で総代さんと御門徒さんと一緒にお勤めをしました。碑にお参りされたのが初めての方もいらっしゃいました。



碑の前でのおつとめが終わったらお寺に戻り、次は証如上人の御消息に間違いがないかの確認を総代さんで行います。この度は総代さん以外にも早く来られていた役員さんにも見ていただくことが出来ました。



皆さんで『仏説阿弥陀経』をお
つとめし、お焼香しました。

證如上人の御消息と縁起の古文書を
総代さんが高座に運びます。



高座にて、まず縁起の古文書を読み上げます。続いて、證如上人の御消息の
拝読です。

お念仏相続のため命をかけて證如上人を守り抜いて亡くなられた二十一人の
方への感謝とこの事実を忘れることなく後世へと語り継いで欲しい旨が記された
直筆のものです。約490年前の出来事と当時のそのままの御消息です。ここまで
受け継がれてきたことに、ただただ驚くばかりです。



縁起、證如上人の御消息披露の後には、院主
さんが本願寺より昭和33年にいただいた『顕彰
の辞』を代読。この法要を大切に、これからもお
念仏相続に励んで下さいといった内容です。

全国の講社の中でも、圓滿寺のように1カ寺で講社が成り立っていることは稀だと教えていただきました。

これも命をかけて證如上人を、法灯を守って下さった二十一人の方、また今日までお念仏を相続して下さった全ての御門徒のお陰であることを改めてお伝えいただきました。

親鸞聖人がお念仏申すことが大切であると、私たちにわかりやすく教えて下さって浄土真宗の立教開宗よりもうすぐで800年。今お聴聞出来ることへのすべてのご縁に感謝ですね。凄いことで、有り難いことです。



法要を迎えるにあたって、お仏具のおみがきして下さったり、碑を綺麗にして下さったりとご尽力いただき、有り難うございました。また、お参り下さる方があり、たくさんの「おかげさま」によりこの度の法要が勤修出来たことです。約490年続いた法要をこれからも皆様と一緒に相続して参りたいと、改めて大切な法要だと味わわせていただくご縁でした。皆様有り難うございます。 称名